

## 久山町の子どもが目が輝く学習を ～久山町学校人権教育実践交流会～

久山町学校人権教育研究協議会では、重点目標として①基礎・基本の確実な定着 ②学習意欲の向上 ③豊かな人間関係を掲げ、それぞれの学校・園で取り組んでいるところです。本校では、3つの重点目標を包括する姿としての「子どもの目が輝く学習」をめざし、全学級の授業公開を致しました。実践交流会を通じた学びを生かすと共に、「子どもの目が輝く」こと的前提に「教師の目が輝く」ことを大切に据え、これからも確かな成果をお示しできるよう実践を重ねてまいります。今後とも、皆様のご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 「聴き合い・語り合い」のある国語・算数・道徳の授業（発達段階に応じた表現活動と聴き方）

1年生 ブロックで考えを表現・体ごと向いて聴く



2年生 集中して自力解決・役割演技で考えを深化



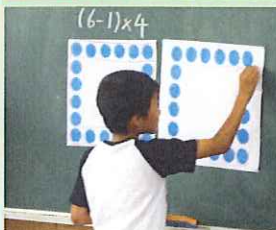
3年生 確かめながら読む・動作化で心情に迫る



4年生 考えをわかりやすく説明する・反応して聴く



5年生 図を使って式を説明・学びを生かして見出し付け



6年生 自己選択した方法で・体験とつないで表現



なのはな グループの友だちと協力して



#### 特別支援コーディネーターの紹介

本校の特別支援コーディネーターは、なのはな学級1の担任 松原 智恵 教諭です。

特別支援教育コーディネーターは、保護者の相談の窓口となったり、校内外の関係者の間を連絡調整し、児童生徒への支援を推進する役割を持っています。

「特別支援教育」とは、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

**全体協議会**：町内の小中幼稚園の先生方が、「子どもの目が輝いている姿」を付箋紙に書いて協議しました。全員が主体的に参加することができました。



#### P T A 教育講演会

演題「家庭教育における体験活動の大切さ」

講師 国立夜須高原青少年自然の家  
所長 宮野 哲美 先生



子どもの頃自然体験、生活が豊かで、道徳心が高く、積極的であり、思いやりがあり、自己肯定感が高いこと。子どもが自然体験を通じて、生活の喜びを感じ、心豊かな人間性を育むことが大切です。

直すよい機会にさせていただけると幸いです。